

[H ハンセン病回復者及びその家族の人権]

R7(2025)8月

分類	No.	図書名	著者・編者名	発行年月日	出版社名
H	1	K1に変更			
H	2	K2に変更			
H	3	現代のスティグマ	大谷藤郎	1993年4月	勁草書房
H	4	らい予防法と患者の人権	島比呂志	1993年8月	社会評論社
H	5	K3に変更			
H	6	K4に変更			
H	7	らい予防法廃止の歴史	大谷藤郎	1996年6月	勁草書房
H	8	日本らい史	山本俊一	1997年12月	東京大学出版
H	9	火花 北条民雄の生涯	高山文彦	1999年8月	飛鳥新社
H	10	よみがえる“万葉歌人”明石海人	荒波力	2000年4月	新潮社
H	11	ハンセン病療養所	冬敏之	2001年5月	壺中庵
H	12	楽々 理解ハンセン病	ハンセン病国賠訴訟を支援する会・熊本	2001年6月	花伝社
H	13	復権への日月 ハンセン病患者の闘いの記録	全国ハンセン病療養所入所者協議会	2001年10月	光陽出版社
H	14	恵楓園自治会の沿革	恵楓園患者自治会	1959年10月	
H	15	恵楓園自治会五十年史	恵楓園患者自治会	1976年10月	
H	16	全患協運動史 ハンセン氏病患者の闘いの記録	全国ハンセン氏病患者協議会	1977年6月	全国ハンセン氏病患者協議会
H	17	恵楓園創立80周年記念誌(その後の20年のあゆみ)	国立療養所菊池恵楓園	1989/5/	
H	18	恵楓園創立90周年記念誌(その後の10年)	国立療養所菊池恵楓園	1999/12/	
H	19	わたしはこう思う らい予防法改正問題に関する意見	全国ハンセン病患者協議会	1994年10月	
H	20	ハンセン病・資料館・小笠原登	大谷藤郎	1993年11月	藤楓協会
H	21	ハンセン病資料館	佐川修・大竹章	1995年5月	高松宮記念ハンセン病資料館運営委員会
H	22	緊急出版! らい予防法の廃止を考えるー九弁連調査とシンポジウムの記録ー	九州弁護士会連合会	1996年7月	
H	23	ハンセン病療養所 隔離の90年 写真[現代編]太田順一	全国ハンセン病療養所入所者協議会	1999年12月	解放出版社
H	24	欠番			
H	25	楽々理解ハンセン病 人間回復ー奪われた90年「隔離」の責任を問う	ハンセン病国賠訴訟を支援する会・熊本 武村淳	2001年6月	花伝社
H	26	少年期の誓いを貫いた薬学のパイオニア 石館守三(マンガ伝記)	矢野功	2002年6月	笹川記念保健協力財団
H	27	証人調書①「らい予防法国賠訴訟」大谷藤郎証言	ハンセン病国家賠償訴訟弁護団	2000年4月	皓星社
H	28	証人調書②「らい予防法国賠訴訟」和泉眞藏証言	ハンセン病国家賠償訴訟弁護団	2001年4月	皓星社
H	29	証人調書③「らい予防法国賠訴訟」犀川一夫証言	ハンセン病国家賠償訴訟弁護団	2001年7月	皓星社
H	30	証人調書④「らい予防法国賠訴訟」成田稔証言	ハンセン病国家賠償訴訟弁護団	2002年6月	皓星社
H	31	遙けくも遠く(ハンセン病療養所在園(社)の聞き書き集)	大阪ハンセン病協力会	2002/9/	
H	32	ハンセン病療養所 百年の居場所(写真集)	太田順一	2002年9月	解放出版社

分類	No.	図書名	著者・編者名	発行年月日	出版社名
H	33	藤楓文芸 第34刊	(財)藤楓協会	2003年3月	
H	34	開かれた扉ーハンセン病裁判を闘った人たち	ハンセン病意見国賠訴訟弁護団	2003年5月	講談社
H	35	歌集 いいぎりの原	内海俊夫	1978年10月	白玉書房
H	36	句集 天涯の座	増葦雄	1985/11/	
H	37	青天	入江章子	1987年5月	砂子屋書房
H	38	森の窓・四季	内海俊夫	1988年9月	
H	39	歌集 小岱の山	青木伸一	1991年10月	石川書房
H	40	歌集 檜・その窓の中に	内海俊夫	1997年10月	石川書房
H	41	歌集 くさの原	畑野むめ	1998年12月	石川書房
H	42	しがまっこ溶けた ～詩人 桜井哲夫との歳月	金正美	2002年7月	NHK出版
H	43 ①	平成15年度秋の特別展「モノ」が語りかけるハンセン病問題 ー人権教育のための国連10年によせてー	昭和女子大学光葉博物館 武田昭子／増田勝彦／有路素子／阿部恵美子 企画・編集	2003年10月	
H	43 ②	平成15年度秋の特別展「モノ」が語りかけるハンセン病問題 ー人権教育のための国連11年によせてー	昭和女子大学光葉博物館 武田昭子／増田勝彦／有路素子／阿部恵美子 企画・編集	2003年10月	
H	44	生き抜いた！ ハンセン病元患者の肖像と軌跡	高波淳	2003年8月	草風館
H	45	ハンセン病をどう教えるか	「ハンセン病をどう教えるか」編集委員会	2003年12月	解放出版社
H	46	ふれあい文芸1	(社福)ふれあい福祉協会	2004年2月	ー
H	47	無菌地帯 ーらい予防法の真実とは	大竹章	1996年10月	草土文化
H	48	父からの手紙 ー再び「癩者」の息子として	林力	1997年8月	草風社
H	49	孤高の桜 ハンセン病を生きた人たち	井上佳子	2001年6月	葦書房
H	50	ハンセン病文学全集第1巻 小説一	加賀乙彦	2002年9月	皓星社
H	51	ハンセン病文学全集第2巻 小説二	加賀乙彦	2002年10月	皓星社
H	52	ハンセン病文学全集第3巻 小説三	加賀乙彦	2002年11月	皓星社
H	53	ハンセン病文学全集第4巻 記録・随筆	鶴見俊輔	2003年3月	皓星社
H	54	証言・ハンセン病 もう、うつむかない	村上絢子	2004年3月	筑摩書房
H	55	検証・ハンセン病史	熊本日新聞社	2004年3月	河出書房新社
H	56	生きる日、燃ゆる日 ハンセン病者の魂の軌跡	国本衛	2003年7月	毎日新聞社
H	57	高松宮記念ハンセン病資料館10周年記念誌	高松宮記念ハンセン病資料館	2004年10月	社会福祉法人ふれあい福祉協会
H	58	ハンセン病文学全集第10巻 児童作品	鶴見俊輔	2003年6月	皓星社
H	59	ふれあい文芸2	(社福)ふれあい福祉協会	2005年3月	ー
H	60	K5へ変更			
H	61	ハンセン病問題に関する検証会議 最終報告書	(財)日弁連法務研究財団／ハンセン病問題に関する検証会議	2005年3月	ー
H	62	山中捨五郎記ー宿業をこえてー	林力	2004年12月	皓星社
H	63	ハンセン病文学全集第6巻 詩①	大岡信／大谷藤郎／加賀乙彦／鶴見俊輔	2003年10月	皓星社

分類	No.	図書名	著者・編者名	発行年月日	出版社名
H	64	ハンセン病文学全集第7巻 詩②	大岡信／大谷藤郎／ 加賀乙彦／鶴見俊輔	2004年2月	皓星社
H	65	新版 楽々理解ハンセン病	ハンセン病国賠訴訟を支 援する会熊本 武村淳	2005年8月	花伝社
H	66	K6へ変更			
H	67	差別とハンセン病 「柊の垣根」は今も	畑谷史代	2006年1月	平凡社
H	68	定ときみ江ー「差別の病」を生きる	段 勲	2006年4月	九天社
H	69	壁をこえてー自治会八十年の軌跡	恵楓園入所者自治会	2006年6月	
H	70	K7へ変更			
H	71	K8へ変更			
H	72	谷間の母様ーハンセン病の救世主・リー女 史伝	野中武社	2006年10月	新風舎
H	73	自分の十字架を背負って	太田國男	2006年10月	玄遊舎
H	74	壁のない風景 ハンセン病を生きる	井上佳子	2006年11月	弦書房
H	75	ハンセン病だった私は幸せ 子どもたちに 語る半生、そして沖縄のハンセン病	金城幸子	2007年5月	ボーダーインク
H	76	名もなき星たちよ 一星塚敬愛園五十年史ー	星塚敬愛園入園者自 治会	1985年10月	総合印刷
H	77	いのち重ねてー星塚敬愛園七十周年記念 ー	星塚敬愛園入園者自 治会	2005年10月	総合印刷
H	78	ふれあい福祉だより特別版 おもいでの写真集	(社)ふれあい福祉協 会	2005年3月	新和プランニング
H	79	K9へ変更			
H	80	わが八十歳に乾杯 在日朝鮮人ハンセン病 回復者として生きた	金泰九	2007年10月	牧歌舎
H	81	ハンセン病を生きて きみたちに伝えたいこ と	伊波敏男	2007年8月	岩波書店
H	82	母ちゃん、ありがとう ーハンセン病の夫と 息子を支えた九十四年の生涯	平沢保治	2009年2月	かもがわ出版
H	83	シンポジウム ハンセン病病歴者と家族 ーその関係回復を考える		2009年2月	かもがわ出版
H	84	ガイドブック菊池恵楓園	菊池恵楓園の将来を 考える会	2009年9月	花伝社
H	85	不可能を可能に 世界のハンセン病との闘 い	笹川陽平	2010年1月	明石書店
H	86	隔離の百年から共生の明日へ ハンセン病市民学会年報2009	ハンセン病市民学会	2010年3月	解放出版社
H	87	ハンセン病文学全集8 短歌	大岡信／大谷藤郎／ 加賀乙彦／鶴見俊輔	2006年8月	皓星社
H	88	ハンセン病文学全集5 評論	大岡信／大谷藤郎／ 加賀乙彦／鶴見俊輔	2010年6月	皓星社
H	89	ハンセン病文学全集9 俳句・川柳	大岡信／大谷藤郎／ 加賀乙彦／鶴見俊輔	2010年7月	皓星社
H	90	あなたたちの天国	イ チョンジュン	2010年10月	みすず書房
H	91	闇を光に	近藤 宏一	2010年10月	みすず書房
H	92	島は語る ハンセン病市民学会年報2010	ハンセン病市民学会	2011年3月	解放出版社
H	93	輝いて生きる ハンセン病国賠訴訟判決から10年	八重樫信之	2011年4月	合同出版
H	94	生き抜いて、サイパン玉砕戦とハンセン病	語り・資料数冊 編者：福岡安則、黒坂愛 子	2011年11月	創土社
H	95	今日、私は出発する ハンセン病と結び合う旅・異郷の生	姜信子	2011年11月	解放出版社
H	96	かけはし ハンセン病回復者との出会いか ら	小川 秀幸	2009年5月	近代文芸社
H	97	世界のハンセン病がなくなる日 病氣と差別への戦い	笹川 陽平	2004年11月	明石書店

分類	No.	図書名	著者・編者名	発行年月日	出版社名
H	98	猫を喰った話―ハンセン病を生きて	崔 龍一	2002年9月	解放出版社
H	99	生まれてはならない子として	宮里 良子	2011年4月	毎日出版社
H	100	ハンセン病講義 学生に語りかけるハンセン病	山本尚友、花田昌宣、 大野哲夫	2013年5月	現代書館
H	101	生かされる日々ーらいを病む人びとと共に	上田 政子	2009年4月	皓星社
H	102	ハンセン病問題から“いのち”の意味を考える ハンセン病市民学会年報2012	ハンセン病市民学会	2013年7月	解放出版社
H	103	会津が生んだ聖母 井深八重 ハンセン病患者に生涯を捧げた	星倭文子	2013年10月	歴史春秋出版
H	104	本題「ハンセン病市民学会年報2013」いま、「いのち」 の意味を問う～ハンセン病回復者をとりまく現状と将来へのメッセージ～	ハンセン病市民学会	2014年9月	解放出版社
H	105	ハンセン病絶対隔離政策と日本社会～無らい 県運動の研究	無らい県運動研究会	2016年1月	六花出版
H	106	あん	ドリアン助川	2016年1月	ポプラ社
H	107	きみ江さん ハンセン病を生きて	片野田 斉	2015年2月	偕成社
H	108	ハンセン病療養所に生きた女たち	福西征子	2016年7月	昭和堂
H	109	孤高のハンセン病医師～小笠原登「日記」 を読む～	藤野 豊	2016年3月	六花出版
H	110	麦ばあの島（全4巻セット）	古林海月	2017年11月	すいれん舎
H	111	知っていますか？ハンセン病と人権 一問一答	神美知宏、藤野豊、牧 野正直	2005年12月	解放出版社
H	112	らい予防法廃止20年・ハンセン病国家賠償訴訟勝 訴15年を迎えて ハンセン病市民学会年報2016	ハンセン病市民学会	2017年11月	解放出版社
H	113	あん【文庫】	ドリアン助川	2015年4月	ポプラ社
H	114	13歳から考えるハンセン病問題	江連恭弘、佐久間建	2023年5月	かもがわ出版
H	115	菊池事件	徳田 靖之	2025年5月	かもがわ出版